



Jamie Reed (ジェイミー・リード) アメリカ、ペンシルバニア出身。英会話講師。クラブエールの2時間英会話クラスの他、大手英会話スクールで企業や個人向けのクラスを担当。雑誌や教科書編集の英文コピーライター、英文校正者としても活躍。旅行マガジン「JTBるるぶ」に英文記事を連載中。得意の料理やヨガを英語で教えるワークショップも開いており、東京在住の人気外国人講師として雑誌などに随時登場。

街中の表示や、日本人の方の間違いやすい英語表現をいくつかとりあげました

Case 1

✕ グラウンド



- school ground
- playground
- schoolyard



日本語で校庭や野球練習場、サッカー練習場などの運動場をグラウンドといいます。英語でグラウンド (ground) と言ったら、単に地面のことです。

校庭を指す場合は、スクール・グラウンドかプレイ・グラウンドまたは、スクール・ヤードです。スクール・ヤードは、都市地域にある学校の比較的小じな校庭をさします。

また、野球の練習場なら **baseball field**、サッカー、フットボールの練習場なら **football field** となります。

- Most school sports are played on **school grounds** but the school swim team goes to the local YMCA to swim.
(学校の体育種目はほとんどグラウンドで行うが、水泳チームは地元のYMCAに泳ぎに行く)

Case 2

✕ ゲームセットになる



- the game is over (野球)
- game set (テニス)

野球試合であれば **the game is over** (試合終了) です。

テニスの場合の **game set** は、そのまま「ゲームセット」で大丈夫です。

- Everyone knew **the game was over** at the baseball stadium, after the batter hit a homerun.
(最終試合はそのスタジアムで昨晚終わった)
- **Game set, match!** Chris Smith is the winner of this tennis game!
(ゲームセット! クリス・スミスがテニス試合の勝者です!)

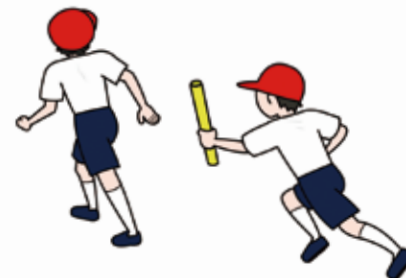


Case 3

✕ バトンタッチする



○ pass the baton



バトンタッチすることはシンプルに **pass the baton** (バトンを渡す) となります。

タッチ (触る) だけでなく、実際に渡すわけなので道理にかなっていますね。

競技レースのバトンタッチだけでなく、人員交代させる場合にもバトンタッチといいますが、英語でも同じ言い方で **pass the baton** は人員交代させる意味でも使います。

- The boss of the company decided it is time to **pass the baton** to new leadership.
(会社の上司は、新たなリーダーにバトンタッチすべき時だと決断を下した)

Case 4

✕ フライング → ○ false start



陸上や水泳などで、スタートの合図より早く、飛び出してしまう場合、日本語ではフライングと言いますね。英語では **false start** といいます (**false** は不正な、という意味)。

flying start と英語で言った場合は、別の意味 (順調なスタートを切る) になるので注意!

- One **false start** per race is allowed because it might have been an accident but after that the person is disqualified.
(レースで1回目のフライングはアクシデントとして許されるが、繰り返した場合はその競技者は失格になる)

Case 4

✕ ゴールインする



○ cross the finish line



マラソン競技や競馬などという、ゴールインは英語では **cross the finish line** となります。

- Three runners **crossed the finish line** at seemingly the same time.
(3名のランナーは、ほぼ同時にゴールインした)

(イラスト)イラストAC